

# 衆議院文部科学委員会ニュース

平成 28.10.19 第 192 回国会第 2 号

10月19日(水)、第2回の委員会が開かれました。

## 1 文部科学行政の基本施策に関する件

・松野文部科学大臣、丸川国務大臣(東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会担当)、松本内閣府副大臣、木原財務副大臣、三木財務大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

(質疑者及び主な質疑内容)

### 亀岡 偉 民君(自民)

- ・教育再生実行会議の新たな検討テーマである「学校、家庭、地域の役割分担の明確化と家庭や地域の教育力の充実」及び「子供たちの自己肯定感が低い現状を改善するための環境作り」に込められた意味と文部科学省の今後の取組方針について、松野大臣に伺いたい。
- ・平成32年東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会(2020年東京大会)の競技会場の決定などに際し、国として積極的に発言すべきであると考え、丸川大臣の見解を伺いたい。

### 前田 一 男君(自民)

- ・青少年に有害な図書等の海外及び我が国におけるコンビニ等への陳列の状況について、内閣府に伺いたい。また、2020年東京大会開催に向けて、このような図書等を子供の目に触れることのないようにすべきと考え、内閣府における取組状況を伺いたい。
- ・公益財団法人日本オリンピック委員会(JOC)が実施しているキャリアアカデミー事業は、教育の目的である人格の完成にとって参考になり、人間力の向上に重要であると考え、教育再生に取り組む松野大臣の決意を伺いたい。

### 富田 茂 之君(公明)

- ・奨学金制度創設の際にも、貸与制・給付制、奨学・育英の観点から様々な議論がなされたが、奨学金制度の在り方についての松野大臣の見解を伺いたい。
- ・奨学金制度が拡充されるに伴い発生した返還の延滞問題について、延滞の状況及び理由について、文部科学省に伺いたい。また、奨学金を必要とする人に必要な情報が行き届くようにすべきであると考え、奨学金制度の周知徹底に向けた文部科学省の取組について伺いたい。

### 長島 昭 久君(民進)

- ・給付型奨学金の創設に関し、当初は慎重な姿勢を示していた安倍内閣総理大臣が、本年夏頃から前向きな発言をするようになった経緯について、松野大臣に伺いたい。
- ・民主党政権時代の平成24年度予算編成の過程において、給付型奨学金の創設を断念した事実を踏まえ、改めて創設に向けた決意を松野大臣に伺いたい。
- ・2020年東京大会開催総費用が、立候補ファイルで示された金額から大きくかい離していることについて、担当大臣として国民に対する説明責任をどのように果たしていくのか、丸川大臣に伺いたい。

### 坂本 祐之輔君(民進)

- ・全国の小中学校におけるオリンピック・パラリンピアンとの交流事業の取組について、松野大臣の見解を伺いたい。あわせて、交流事業の取組状況について、スポーツ庁に伺いたい。
- ・2020年東京大会に向けた競技力向上のため、競技力向上事業助成金の助成割合を高めることなどにより国内競技連盟の負担を軽減する必要があると考え、松野大臣の見解を伺いたい。
- ・子供たちの自尊心を養い、また、将来の競技者を育成するためにも、幼児期からスポーツと親しむ取組を進める必要があると考え、松野大臣の見解を伺いたい。
- ・学校の部活動が担当教員の負担となり、担任を受け持つクラスの生徒と向き合う余裕がなくなっているなどと言われていることを踏まえ、教員と部活動の関わり方について、松野大臣の見解を伺いたい。

### 牧 義 夫君(民進)

- ・2020年オリンピック・パラリンピック招致活動において、東京は「復興五輪」というコンセプトを掲げ、開

催地に決定されたが、改めて「復興」がオリンピック・パラリンピックといかに結びつくのかについて、丸川大臣の見解を伺いたい。

- ・環太平洋パートナーシップ協定の締結に伴う著作権法の改正内容は、権利者側の利益を優先するものであり、利用者側に不利益を与える懸念があると考え、権利者側の利益を優先するという方向性をどのように考えるか、松野大臣の見解を伺いたい。
- ・知的財産政策は国として戦略的に取り組むべき重要な政策分野であり、その一翼を担う著作権法を所管する文化庁の京都への全面移転には疑問を感じるが、知的財産戦略本部における文化庁の役割・位置付けはどのようなものであると考えるか、松野大臣の見解を伺いたい。
- ・大学教員が作成する入試問題について、受験参考書等に転載される等の二次使用の実態が確認されるが、大学入試問題の二次使用料の在り方についてどのように認識しているのか、文部科学省に伺いたい。

### 平野博文君(民進)

- ・大臣就任に当たって今後最も優先して取り組みたい政策分野はあるか、松野大臣に伺いたい。
- ・ウィッツ青山学園高等学校における就学支援金の不正受給をはじめとして、高等学校等就学支援金制度の悪用は極めて重大な問題であると考え、国は就学支援金受給者の受給資格を確認することができるのか、松野大臣に伺いたい。
- ・株式会社による学校の設置は構造改革特別区域の制度を利用して特例的に認められているところ、ウィッツ青山学園高等学校が所在する三重県伊賀市が提出した認定申請には、特別区域認定後は地域の特性を活かした教育を実施するなど書かれているが、どのような特性を認めたため同市を特別区域として認定したのか、内閣府に伺いたい。

### 大平喜信君(共産)

- ・安倍内閣総理大臣の所信表明演説において、成績にかかわらず必要とする全ての学生が、無利子の奨学金を受けられるようにしているが、奨学金の成績基準の撤廃について文部科学省及び財務省の検討状況を伺いたい。
- ・安倍内閣総理大臣の所信表明演説において来年度予算編成の中で実現している給付型奨学金制度について、文部科学省の公表した議論の整理では、各国の給付型奨学金制度と比べて対象者が少なく、対象者を拡充するべきであると考え、松野大臣の認識を伺いたい。

- ・給付型奨学金の給付の方式として、「事前給付型」と「返還免除型」がある。返還免除型では、入学前に給付の可否が予測できないため、事前給付型を採用するべきと考えるが、松野大臣の認識を伺いたい。
- ・3月に発表された文部科学省の中途退学の委託調査の報告では、学費・授業料について、国立大学では授業料減免、私立大学では授業料延納に関する相談件数が増えたとしている。私立大学の授業料減免の拡充に関する松野大臣の見解を伺いたい。

### 伊東信久君(維新)

- ・2020年東京大会に際し、ドーピング抜き検査のため選手の居場所を登録するシステム(ADAMS:アンチドーピング・アドミニストレーション・アンド・マネジメント・システム)について、サイバー攻撃や情報漏洩に備え管理を強化する必要があると考えるが、丸川大臣の所見を伺いたい。
- ・2020年東京大会においてドーピング検査を充実する必要があると考えるが、ドーピング検査員(DCO:ドーピング・コントロール・オフィサー)として必要とされる人員の積算根拠及び人材育成計画を伺いたい。
- ・2020年東京大会における血液検査のための採血の資格を持つBCO(ブラッド・コレクション・オフィサー)を確保するための方策を伺いたい。

### 吉川元君(社民)

- ・文部科学省が策定した「次世代の学校指導体制の在り方について(最終まとめ)」における、10年程度を見通した「予算の裏付けのある教職員定数の中期見通し」の根幹となる考え方を伺いたい。
- ・本年9月の独立行政法人日本スポーツ振興センター法施行令の一部改正について、いじめ・体罰等本人の責めに帰することができない事由を背景とする高校生等の自殺を死亡見舞金給付の対象とすることとした理由を伺いたい。
- ・2020年東京大会の開催費用が3兆円を超える可能性があることを本年9月29日に東京都の調査チームが発表したことについて、丸川大臣の見解を伺いたい。